



1年生と保育園との交流会

③じょうぶで
 たくましく
 最後まで
 やりぬく子ども

②きまりを守り
 思いやりのある
 心豊かな子ども

①よく考え、
 進んで学ぶ
 子ども

人間性豊かで
 主体性に富んだ
 児童の育成

学校教育目標

この一年間のご協力に感謝します。

あと数日を残すのみとなり、平成29年度の学校生活の幕が閉じられようとしています。この一年の間、保護者や地域の方々、関係機関の皆様方など、大勢の方々を支えられての学校生活でした。いつでも温かい眼差しで見守っていただいたので、東小の子どもたちは大きな成長の足跡を残すことができました。感謝の気持ちでいっぱいです。今後も学校教育目標「よく考え、進んで学ぶ子ども」「きまりを守り、思いやりのある心豊かな子ども」「じょうぶでたくましく、最後までやりぬく子ども」の育成に向けて、努力して参ります。

晴れの門出へと「第30回卒業証書授与式」



3月20日(火)「第30回卒業証書授与式」の日が、間近に迫ってきました。このめでたい門出の日には、54名の卒業生が、竜王東小学校を巣立ち中学校という新しい世界に進んでいきます。人生におけるいくつかの節目の一つである、小学校の「卒業」という節目が鮮やかに彩られるように、練習を積み重ねて本番への意識を高めています。

最終の3月に入ってからは、卒業式練習が本格的に始まりました。入退場の方法や卒業証書のもらい方、呼びかけや合唱の練習も計画しています。厳粛な雰囲気の中で、大勢を前にすれば、いやがうえにも緊張感が高まっていくものです。失敗を恐れず、心を込めてしっかりやり通すことにより自信が深まるものです。厳かな儀式ではありますが、在校生との気持ちが通じ合い、卒業生一人ひとりにとって小学校最後の良き思い出になることを願っています。

また、卒業式には在校生代表として4・5年生が参加し、職員とともにお祝いと感謝の気持ちを伝えていく予定です。



送る会で伝えました。…「ありがとう6年生」を



「6年生を送る会」が2月27日(火)に行われました。この1年間、最上級生として全校のよきリーダーとして、頑張ってくれた6年生に感謝の気持ちを伝えるために、1年生から5年生までの在校生全員によって計画を立てて準備をしてきました。

体育館で、縦割り班ごとに別れてゲームをしたり、手作りのプレゼントを渡したりすることができました。6年生の笑顔も一層、明るさを増しました。足跡を振り返るスライドでは、幼かった低学年の頃の写真に会場は沸き立ち、その成長ぶりを全校で喜び合えました。呼びかけや全校合唱によって、6年生への感謝の気持ちを伝えることができました。

6年生からも、お返しの出し物があり、体育館では和やかで心温まる時間を過ごすことができました。

5年生にとっては6年生からバトンを引き継ぐ初仕事となりましたが、新役員を中心とした学年全体が一丸となって取り組むことにより、新役員に役を果たすことができました。竜王東小学校児童会の伝統がより良く引き継がれることになりました。



平成29年度 学校評価について(1/23の「学校関係者評価委員会」より)

今年度の学校評価の結果が以下のようにまとまりましたのでお知らせします。

I 全体評価

(1) 学校経営方針に基づいた学校教育目標が設定され、その目標実現に向けて、「安全・安心・安定」のキーワードのもと適切な学校経営、学年・学級経営が行われている。

〈判断の根拠〉…行事等をはじめ、学期ごとに成果と課題を教務主任が総括し、常に反省を生かした教育活動ができるシステムが定着してきた。

(2) オープンスペースを活用した個に応じた学習と基礎・基本の定着を図る学習が工夫されている。

〈判断の根拠〉…過去の「教員自己評価」結果の「2.7」ポイントから今年度は「3.6」ポイントへと飛躍的に上昇している。

校内研究に主体的に関わり、学校全体としての授業改善への積極的な取組がうかがえる。

平成32年度に本格実施となる学習指導要領実施に向けて、本校の特色であるオープンスペースを有効活用したカリキュラム・マネジメントを今後も推進していく。

(3) 学校ホームページを随時更新し、保護者や地域に情報発信を行うことで理解と協力が得られるよう配慮している。

〈判断の根拠〉…「学年・学級懇談会」「学年だより」「給食・保健・図書だより」「個別懇談会」等を通して、家庭との連携を密にし、子どもの健全な育成に向けて努力している。また、地域とともにある学校として、おたよりだけでなく、学校ホームページを通じて広く情報発信を行い、説明責任を果たすことにも配慮している。

(4) 児童の健全育成のために、学校・保護者・地域・関係機関との連携を図るとともに問題行動の未然防止と早期発見・早期対応に努めている。

〈判断の根拠〉…「教員自己評価」は昨年度と同程度であるが、全体的に肯定的回答が上昇している。

児童の「学校のきまりや約束ごとを守っていますか。」等の項目でも生活規律を大切にしている児童が増加傾向にある。

保護者の学校評価結果では昨年度と同等もしくは上昇傾向にあり、家庭の教育力が向上してきているとともに、学校に対する信頼が上昇傾向にある。今後も地域・家庭が連携し、学校教育のより一層の向上を目指したい。

II 今後の課題

(1) 危機管理について

PTAによる「安全マップ」の作成を行っているが、「こども110番の家」についての見直しを行った方がよい。また、高速道路の側道に一時停止の表示がないところがあるので、保護者や地域、関連機関等と相談して児童の安全教育に努める必要がある。

(学校より)

- ・「こども110番の家」の現状把握を年度当初に行ったが不備もあったようだ。PTA生活指導部が中心となって再調査をし、看板が古くなったものは交換する等の対応をしてく。また、最近オープンしたコンビニなどに出向き、新規登録をお願いするようにしたい。
- ・不審者から身を守る方法について、「イカのおすし」等の具体的な行動を確認する。
- ・危険箇所の周知、徹底等家庭にも積極的に協力を求めるようにしていきたい。

(2) 学校閉庁日について

教員の多忙化が社会問題にもなっている。本校でも週休日に勤務している教員もいる。健康管理に気をつけて教育活動を推進してほしい。「学校閉庁日」の趣旨は良いと思う。

(学校より)

- ・夏休みなどに一定期間、教職員が出勤しない「学校閉庁日」を来年から設けることに理解をいただきたい。甲斐市では市内全小中学校を対象に夏休み期間中の8月13～15日、県民の日、創立記念日の計5日間を学校閉庁日に設定した。少しでも教員の多忙化を改善し、ゆとりをもって児童の指導に当たれるように取り組みたい。

(3) あいさつ運動について

「あいさつ運動」を今後も継続して行ってほしい。地域の方にも積極的にあいさつができるようになってほしい。

(学校より)

- ・学校でも児童会を中心に活発にあいさつ運動を行い、さわやかな学校生活が送れているように思う。地域の人たちへ自らあいさつができるように学校でも指導していきたい。